

一般社団法人・日本 DMORT ニュース第 1 号(2018 年 5 月)

1. 理事長からのあいさつ

日本 DMORT 会員の皆様。

日本 DMORT 理事長の吉永和正です。昨年(H29年)7月に法人が発足してまだ1年を経っていませんが、登記?、口座開設?、貸借対照表?、県民税?などと分からないことだらけの中で一般社団法人理事長1年生が悪戦苦闘しています。そのような中でやっと、法人から発信の「日本 DMORT ニュース」をお届けすることができるようになりました。

法人としての活動を皆様にお伝えするのが一番の目的ですが、それに対して会員の皆様から何らかの発信をしていただければ今後のニュースやホームページの中に反映してゆきたいと思えます。もちろん急ぐものはメーリングリストを使用しての発信も併用してゆきます。このニュースが一方向性の情報伝達でなく、双方向性の情報交換ができるツールになればと願っています。ニュースの担当は、研究会の頃からニュースメールを発信してきた副理事長の村上先生にお願いしています。

法人の理事はニュース編集などに慣れていませんので、新聞のような見やすいものにはほど遠い状態ですが、必要な情報はお届けできると思っています。このニュースが皆様のお役に立つことを願って、ニュース第1号のあいさつとさせていただきます。

2. 当法人の活動内容の報告

1) 兵庫県警との連携について

当法人事務局の所在地は兵庫県ですので、かねてより兵庫県警被害者支援室とは良好な協力関係を築いておりましたが、このたび、正式に兵庫県警との協定が締結し、2018年1月30日(火)、兵庫県警と一般社団法人日本DMORTの間で「災害等発生時における死亡者家族支援に関する協定」の締結式が兵庫県警察本部にておこなわれました。今後、全国の都道府県警察ともこういった協定を締結できるような活動を続けていけたらと思います。

協定にさきだちまして、1月12日(木)、神戸市北区にて兵庫県警察総合災害警備訓練にも参加いたしました。DMORT 役は当法人メンバーですが、今回遺族役は兵庫県警被害者支援室メンバーが熱演してくれました。この様子は毎日



放送「ちんぷいふい」で放映され、新聞にもとりあげていただきました。「ちんぷいふい」は関西圏以外には放映地域が北海道、鹿児島、宮崎などに限られているようでご覧になれない方もたくさんおられると思いますが、テレビ局がDMORT を正面から取り上げた最初の番組でした。限られた時間の中ではよくまとまっていると感じました。



<http://www.sankei.com/photo/story/news/180112/sty1801120016-n1.html>

2) 愛知県における活動について

4月26日(木)に開催されたH30年度愛知県被害者支援連絡協議会定例総会で日本DMORTが正式会員として承認されました。同時に承認されたガイドラインの中ではコアチームのメンバーと位置づけられています。すでに兵庫県被害者支援連絡協議会の会員となっており、新たな活動地域ができたこととなります。

3) 徳島での講演

2018年2月25日(日)、徳島大学にて開催された徳島県災害時対応研究会(事務局:徳島大学大学院医歯薬学研究部法医学分野 内)主催の第7回研修会に講師として、お招きいただきました。

「災害時遺族支援の『これまで』と『これから』—日本DMORTと熊本地震—」というテーマで

①「日本DMORT—法人化により新しい段階へ—」(当法人理事長・吉永和正)

②「DMORT活動の実践と実際—熊本地震の現場より—」

(京都第一赤十字病院 看護師長・河野 智子)

の講演と、

③指定発言「これまでのDMORT活動の評価と今後の課題」(副理事長・村上典子)

でした。

特に河野師長の実戦経験の話は大きなインパクトがあったことと思います。医師、歯科医師のみならず消防・警察関係者にも参加いただき、当法人の活動をアピールさせていただきました。

3. 今後の研修会や訓練のお知らせ、募集

今年度、2回か3回の「DMORT養成研修会の開催」を計画しておりますが、日程・場所等は未定です。決まり次第、広報いたしますので、よろしくお願いいたします。

4. 今後の関連の学会発表など

1) 第 59 回日本心身医学会総会・学術講演会

(会長:金子宏・医療法人東恵会星ヶ丘マタニティ病院副院長・内科部長)

2018年6月8金・9土、名古屋国際会議場で開催されます第59回日本心身医学会にて、企画講習会「DMORT(災害死亡者家族支援チーム)とは」(日本心療内科学会災害支援プロジェクト合同企画)が開催されます(9日土曜、15:15~17:15)。学会HPは

<http://www.ccs-net.co.jp/jspm59/>

北川喜己先生(名古屋掖済会病院救命救急センター)と村上典子の講演の後、グループに分かれてロールプレイングもおこないます。学会に参加いただけたら、事前申し込みは不要です。土曜の午後という参加しやすい時間帯だと思いますので、皆様ふるってご参加ください。なお、医師以外の方(看護師・コメディカル)には「当日会員」という、かなりお得な制度もあります。これには学会員の推薦が必要ですので、この件については村上までお問い合わせください。

<n-murakami@kobe.jrc.or.jp>

2) 日本災害看護学会第20回年次大会

(会長:増野園恵・公立大学法人兵庫県立大学地域ケア開発研究所)

2018年8月10金・11土、神戸国際会議場で開催されます。組織ブース展示会場に、DMORTもブース展示し、活動の紹介や研修のご案内をいたします。

8月10日(金)9:30~17:00、11日(土)9:00~16:00

是非、展示会場にお立ちよりください。また多くの方にご紹介をお願いいたします。

詳細は追って、学会HPなどご確認ください。

<http://jsdn20.umin.jp/>

5. 関連の研究会、勉強会、書籍などの情報の案内

1) 災害グリーフサポートプロジェクトについて

東日本大震災を機に、これまで「悲嘆(グリーフ)」を専門に活動してきた実践者と研究者が集まり、震災で大切な人を亡くされた方を支援するための災害グリーフサポート(JDGS)プロジェクトを立ち上げました。その一環として「災害で大切な人を亡くされた方を支援するためのウェブサイト」を開設し、災害時の「悲嘆」や「グリーフケア」に関する情報を掲載しています。当法人理事の黒川雅代子と村上典子も世話人を務めており、当法人も連携・協力団体となっております。また国内外の著名な研究者の方々もアドバイザーに就任いただいております。サイトは以下のアドレスです。是非ご活用ください。

<http://jdgs.jp/>

2) 書籍紹介「遺体 震災、津波の果てに」(石井光太著、新潮社・文庫あり)

2011年10月に出版された、このノンフィクションは以前、DMORT ニュースメールで紹介しまし

たが、まだご存じでない方もいらっしゃると思い、今回紹介いたします。

釜石市の遺体安置所で、ご遺体・ご遺族に関わった様々な方達(民生委員、行政職員、医師、歯科医師、消防職員、消防団員等)を取材されたもので、その後「遺体 明日への十日間」という映画になりました(2013 年公開)。映画の方は、西田敏行演じる民生委員(元葬儀社勤務)を主人公に、緒形直人、佐藤浩市、柳葉敏郎、筒井道隆、志田未来など著名な俳優が多数出演、逆に遺族役はあまり有名でない方(失礼)が演じられているため、大変リアルティがあります。遺体安置所の様子はニュースで流されることは決してありませんので、「こんな感じなんだろうな・・・」と思わされる、ドキュメントのような映像です。正直、涙なしでは見られませんが(私は映画館で最初から最後まで、ずっと泣きっぱなしで観ておりました・・・)、DMORT の会員の方には是非ご覧になっていただきたいとお勧めします。

6. 事務局からのお知らせ

1) 正会員と登録会員について

基本的には入会いただける方は「登録会員」となります。正会員は従来の世話人や、今までに訓練に参加くださったり、研修会のタスクをして下さったり、積極的に運営に関わって下さる意思のある方などで、理事から推薦させていただいております。

2) 理事名簿

理事長: 吉永和正(協和マリナホスピタル院長)

副理事長: 村上典子(神戸赤十字病院心療内科部長)

理事: 長崎靖(兵庫県監察医務室)

山崎達枝(東京医科大学)

黒川雅代子(龍谷大学短期大学部准教授)

監事: 鵜飼卓(兵庫県災害医療センター顧問)

【事務局所在地】

〒662-0934 兵庫県西宮市西宮浜 4-15-1 協和マリナホスピタル内

電話:0798-32-1112(代) FAX:0798-32-1222

E-mail:information@dmort.jp

<編集後記>

このたびは、一般社団法人日本 DMORT の会員になっていただき、ありがとうございました。ニュースメール第 1 号を配信いたします。文章はともかく、写真などレイアウトも洗練されておらず発展途上ですが、がんばって情報発信していきたいと思っておりますので、今後とも皆様よろしく願いたします。(編集担当:村上典子)。